

#

記入欄

1	計画名称	赤外線宇宙望遠鏡GREX-PLUS																																																																																													
2	代表者名	井上昭雄																																																																																													
3	代表者所属	早稲田大学																																																																																													
4	関連する主な研究者コミュニティ名（あれば）	光学赤外線天文連絡会																																																																																													
5	現在の計画のステータス	概念検討段階																																																																																													
6	第5期中期計画期間中(2028-2033年度)の予想されるステータス	開発段階（基本設計、詳細設計、製作）																																																																																													
7	計画のScience Goal（計画の核心をなす学術的問い）	2大科学目的は「初代銀河の形成過程」と「惑星系形成領域の水の分布」の解明																																																																																													
8	計画のScientific objectives（計画の研究目的）	近中間赤外線帯を観測する宇宙望遠鏡により、地上からは到達できない高感度を達成し、銀河形成進化論および惑星系形成進化論を革新する																																																																																													
9	計画が実施するScience investigations（何をどこまで明らかにしようとするか）	最遠方銀河の発見や、銀河形成の物理過程と Λ CDM構造形成シナリオの検証。惑星系形成領域のスノーラインの時間空間進化を観測し、惑星系形成過程や地球型惑星上の水の起源を解明。																																																																																													
10	計画の実施期間（既存の計画の場合は過去の期間も含む）	2020~2046																																																																																													
11	計画全体の予算規模（総額、もしくは年度毎の額）	400億円+国際協力+外部資金（天文台含む）																																																																																													
12	上記の中で期待する国立天文台の資金（総額、もしくは年度毎の額）	10億円(TBD)																																																																																													
13	国立天文台に期待する役割	例えば、サイエンスセンター(TBD)																																																																																													
14	資金調達方針(5種類から数字で選択)	3,4,5																																																																																													
	1. 既存の大規模学術フロンティア促進事業費, 2. 運営費交付金(既存計画, 新規計画の検討活動・基礎的開発を含む), 3. 新規 大規模学術フロンティア促進事業への提案, 4. 国立天文台以外の実施機関(たとえば大学や JAXA 宇宙研)予算, 5. 外部資金あるいは競争的資金	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>2031</th> <th>2032</th> <th>2033</th> <th>2034</th> <th>2039</th> <th>2044</th> <th>2046</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画創出</td> <td></td> <td>採択</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>衛星開発</td> <td></td> <td>開発</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>打上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>運用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>運用</td> <td></td> <td>延長運用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アーカイブ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>終了</td> </tr> </tbody> </table>															2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2039	2044	2046	計画創出		採択														衛星開発		開発										打上				運用												運用		延長運用		アーカイブ															終了
	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2039	2044	2046																																																																																
計画創出		採択																																																																																													
衛星開発		開発										打上																																																																																			
運用												運用		延長運用																																																																																	
アーカイブ															終了																																																																																
15	実施期間にわたる計画の簡単な線表(画像を添付)																																																																																														